

巢鴨北中学校  
建替えに関する提言書

平成 27 年 5 月  
巢鴨北中学校の建替え等を考える会

# 巣鴨北中学校建替えに関する提言書

## 目 次

---

はじめに	1
1. 巣鴨北中学校の現況	
(1) 位置	2
(2) 用途地域・地区等	2
(3) 学校施設の現況	3
2. 建替えに係る条件等の整理	
(1) 改築スケジュール	4
(2) 改築期間中の仮校舎について	4
(3) 生徒数と学級数	5
(4) 学校の教育目標と機能	6
3. 建替え基本構想に関する提言	
(1) コンセプト　－私たちの思い－	7
(2) 基本的な考え方（基本方針）　－こんな学校にしたい－	8
(3) 施設・機能の考え方（整備方針）　－こんな風につくりたい－	10
(4) 配置計画とその特徴	15
4. 巣鴨北中学校の改築に向けた参考意見について	17
<b>資料編</b>	
●「巣鴨北中学校の建替え等を考える会」における検討経過	
(1) 活動概要	18
(2) 学校見学会の記録	19
(3) アンケート調査の概要	21
(4) 検討の様子、ワークショップの概要	24
(5) 巣鴨北中学校の建替え等を考える会」会則	35
(6) 「巣鴨北中学校の建替え等を考える会」委員名簿	37

はじめに

私たち「巣鴨北中学校の建替え等を考える会（以下、考える会）」は、巣鴨北中学校（以下、巣鴨北中）、豊島区、町会、商店会、地域のまちづくり組織、周辺小学校（清和小、西巣鴨小、豊成小、朝日小）PTA、大正大学の代表者によって構成される組織です。

平成26年6月に会を設立して以来、検討会、学校建築に関する勉強会、区内外の学校見学会、ワークショップ等を実施し、建替えに関する知識・理解を深めてきました。また、提言書策定の参考とするため、巣鴨北中の生徒・保護者・教職員、学区の周辺小学校PTAや5～6年生児童、地域の方々を対象としたアンケート調査も実施し、様々な意見を集約・整理してきました。

そしてこの度、考える会の中で出された提案、地域の皆さまからいただいた意見を反映させた提言書がまとまりましたので、本書のとおり提言します。

今後、建替えによって巣鴨北中が「学びの場」「生活の場」「地域の拠点」として整備され、地域に安全・安心を与え、世代を超えて愛される学校になることを願っています。

## 巣鴨北中学校の建替え等を考える会



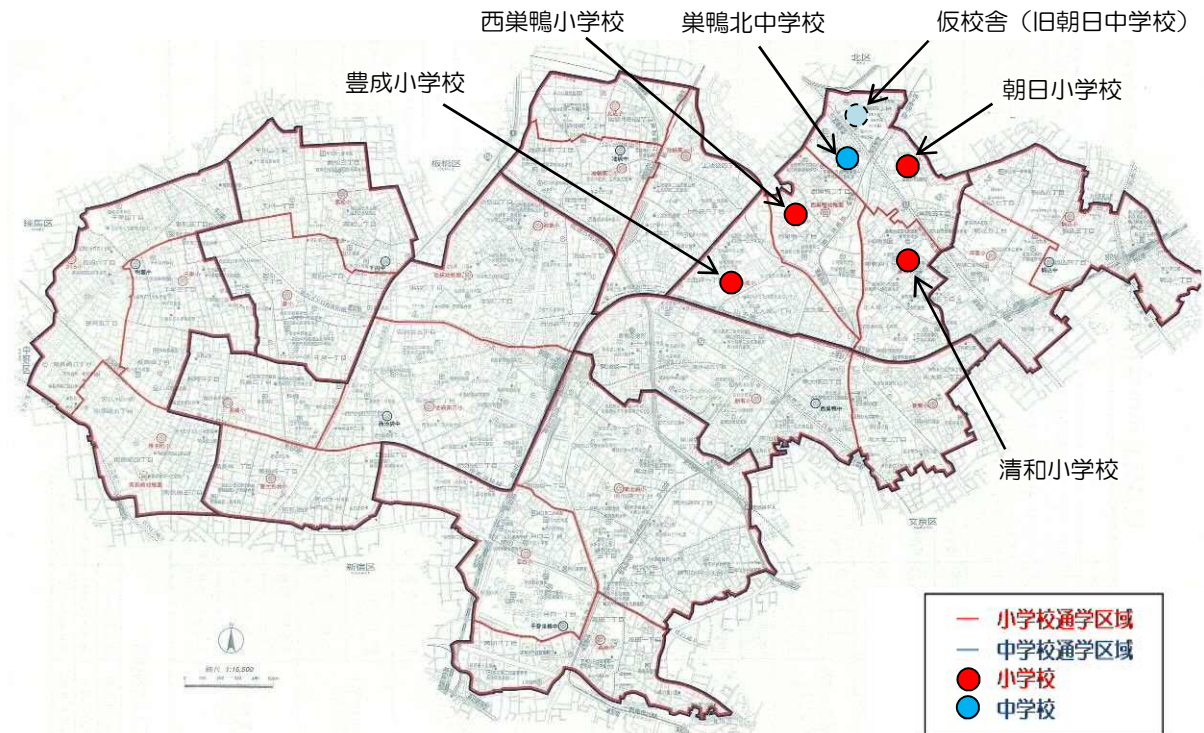
先進事例視察の様子



ワークショップの様子

# 1. 巣鴨北中学校の現況

## (1) 位置



## (2) 用途地域・地区等



用途地域 : 第一種住居地域、近隣商業地域、商業地域

防火地域 : 準防火地域、防火地域

高度地区 : 第3種高度地区、高度地区無

日影規制 : (高さ10mを超える建築物を対象とする)

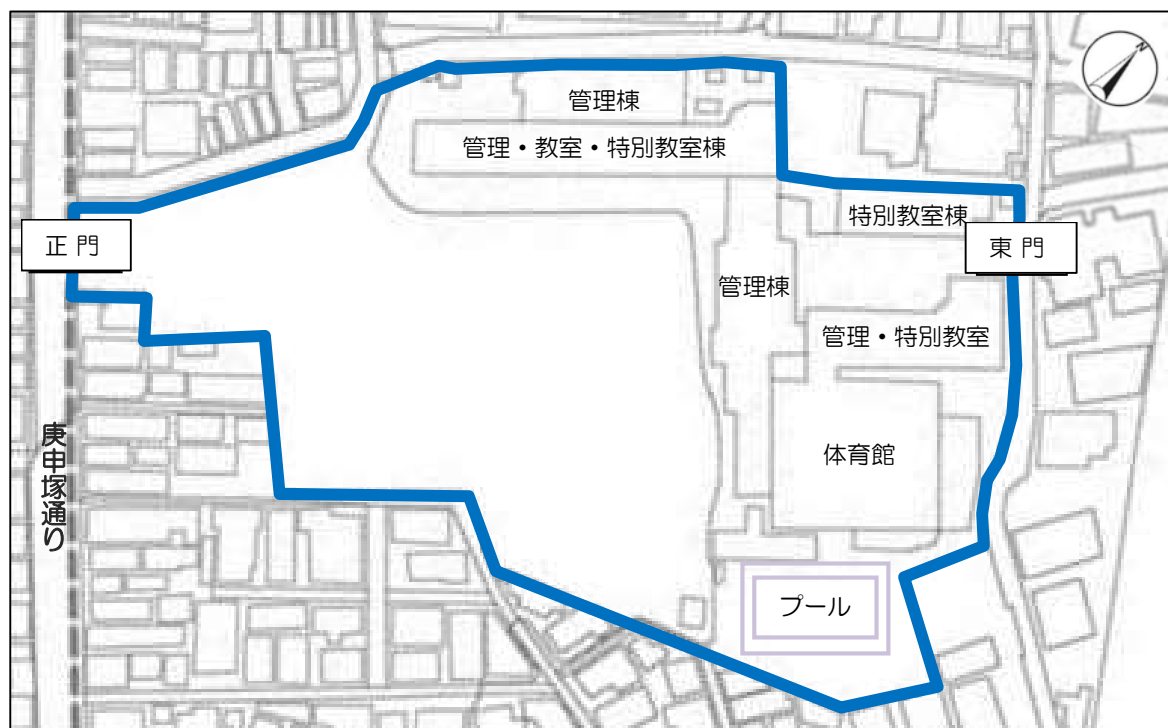
測定面の高さ・・・平均地盤面から4m

規制値・・・敷地境界線から5mラインで4時間、10mラインで2.5時間

道路斜線 : 1:1.25 (住居系用途地域)、1:1.5 (商業系用途地域)

建ぺい率/容積率 : 70% / 300%・400%

### (3) 学校施設の現況



所在地 : 豊島区西巣鴨 3-17-1

校地面積 : 13,201 m<sup>2</sup> (運動場 6,017 m<sup>2</sup>)

延床面積 : 校舎 6,068 m<sup>2</sup>、体育館 1,148 m<sup>2</sup>

構造 : 校舎・・・鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、木造  
体育館・・・鉄筋コンクリート造及び鉄骨造

建設年度 : 校舎・・・昭和 32、33、34、37 年度

体育館・・・昭和 50、61 年度

#### ■教室等

- 普通教室 : 13 教室
- 特別支援学級 (固定) : 職員室 1、調理室 1、特別支援学級教室 2、作業室 (金工室) 1
- 特別教室等 : 理科室 2、音楽室 2、美術室 1、家庭科調理室 1、家庭科被服室 1、金工室 1、木工室 1、コンピュータ室 1、ランチルーム 1、生徒会室 1、相談室 2、生徒更衣室 1、生徒更衣室 (プール) 2
- 管理諸室等 : 校長室 1、職員室 1、事務室 1、主事室 1、会議室 2、放送室 1、印刷室 1、保健室 1、PTA 室 1、職員更衣室 1、倉庫・物品庫等 3



## 2. 建替えに係る条件等の整理

### (1) 改築スケジュール

当初、平成 26 年度から基本・実施設計、平成 28 年度から解体・改築工事、平成 30 年度から供用開始を予定していましたが、以下の理由により改築手法を変更しました。

- ① 巢鴨北中学校の土地形状及び接道条件により、生徒の通学動線と工事車両動線が重なるため、自校地内改築では生徒の安全確保が困難である。
- ② 自校地内改築は、作業エリアの確保が難しいため建築作業が技術的に困難である。
- ③ 自校地内改築は、騒音・振動・埃等により教育環境に支障をきたす。

#### 【変更前：自校地内改築】

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
巢鴨北中	基本・実施設計		解体・改築工事		供用開始	
旧朝日中	にしすがも創造舎使用	巢鴨北中仮運動場整備 校舎等解体	巢鴨北中運動場活用			

#### 【変更後：旧朝日中を仮校舎として改築】

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
巢鴨北中		基本・実施設計		解体・改築工事		
旧朝日中	にしすがも創造舎使用		改修工事 (耐震補強)	巢鴨北中仮校舎使用		

### (2) 改築期間中の仮校舎について

平成 29 年度からは、旧朝日中学校（現在にしすがも創造舎として活用中）を仮校舎として使用します。

巢鴨北中学校と旧朝日中学校の位置関係は右図のとおりです。



(3) 生徒数と学級数

①生徒数及び学級数（平成27年4月1日現在）

学年	1年	2年	3年	合計
生徒数	114	139	164	417
学級数	4	4	5	13
特別支援(固定)生徒数	2	5	1	8
学級数	—	—	—	1

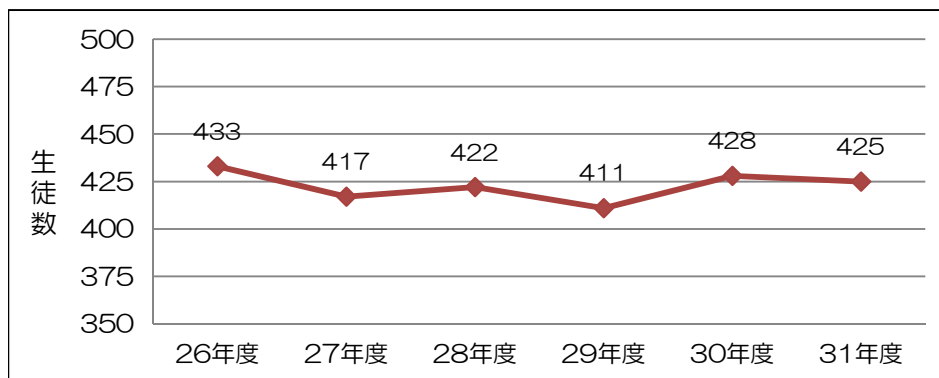
②生徒数及び学級数の推計

年度	生徒数				学級数計
	1年	2年	3年	計	
H26	138	158	136	433	12
H27	114	139	164	417	13
H28	150	131	141	422	12
H29	129	151	131	411	12
H30	147	130	151	428	12
H31	146	148	131	425	12

※平成27年度（4月）以降は、平成26年度教育人口等推計（東京都教育庁）による。

※推計値は、隣接校選択制等の要素を加味していない。

グラフ：生徒数の推計



#### (4) 学校の教育目標と機能

##### ①教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生徒たちが心豊かで思いやりに溢れ、生涯を通じて自己実現を目指し、人間性豊かな社会の形成者として成長することを願って、次の目標を掲げる。

○自主      ○自律      ○連帯

『平成26年度 学校要覧』より

##### ②目指す学校像

「安心して登校でき、満足して下校できる学校」

##### ③基本機能

- |         |                |
|---------|----------------|
| 【学びの場】  | 生徒たちが進んで学ぶ学校   |
| 【生活の場】  | 生徒たちが喜んで通う学校   |
| 【地域の拠点】 | 生徒・保護者・地域が集う学校 |

##### ④救援センター機能

救援センターは、震災時に地域の避難所になるとともに、応急救護活動の拠点として次の機能を有する。

- 防災行政無線等の整備による災害情報の収集、伝達
- 炊飯器、ろ水機等の整備による給食給水活動
- 傷病者のための応急医療救護活動
- 被災者のための一時的な宿泊場所の提供



### 3. 建替え基本構想に関する提言

#### (1) コンセプト —私たちの思い—

# 笑顔が溢れる「学びの場」 地域とつながる「巣鴨北中」

## ～ コンセプトの主旨 ～

- 学校が新たに建て替わっても、「学びの場」としての機能は第一に考えたいと思います。また、これまで育んできた学校と地域のつながりが、さらに一歩進んだ関係になる学校づくりを目指します。その上で、いざという時の拠り所となる、地域の中心施設として、安心を与え、世代を超えて愛される学校づくりを行います。
- 巣鴨北中学校（以下、巣鴨北中）は、商店街（庚申塚商栄会）や大正大学に隣接しており、常に地域から温かく見守られ、学校内でも地域でも、自然とあいさつや笑顔が交わり合う学校です。地域と学校のつながりを大切にしたい校風は、「巣鴨北中らしさ」として大切にしたいと考えます。

## (2) 基本的な考え方（基本方針） —こんな学校にしたい—

### 1. 「学びの場」を第一とした学校

#### ① 時代に対応した学習環境

- 日当たりのよい教室をはじめ、リフレッシュ・交流の場としての空間づくりも工夫し、生徒たちが快適に学習でき、教職員の職場環境としても過ごしやすい環境を整備します。
- 時代とともに進歩する学習内容や学習形態、ICT 環境に柔軟に対応できるよう、情報環境設備を整備します。

#### ② 授業や部活動が伸び伸びとできる広い校庭

- 棠鴨北中は、豊島区内の公立中学校の中で最も校庭面積が広く、体育系の部活動が盛んな学校です。引き続き、体育の授業や部活動が伸び伸びとできるよう、運動がしやすい校庭の形状や設備面にも配慮し、「学びの場」としての校庭を整備します。

#### ③ 自然を身近に感じる環境教育の場

- 環境負荷の低減や自然との共生に配慮した学校施設として整備し、生徒たちの環境教育の場としての機能を果たします。
- 敷地内の緑化の推進（既存樹木、新規樹木、屋上緑化、壁面緑化等）、自然の風を感じる仕組み、太陽光パネルなど、自然エネルギーを活用する設備を整備します。

### 2. 棠鴨北中らしさを活かした学校

#### ① 学校のシンボル、笑顔行き交う「れんが通り」

- 校門からまっすぐ校舎に向かうれんが通りは、校歌の歌詞になっていることから分かるように、棠鴨北中のシンボルです。棠鴨北中の生徒・保護者・教職員、周辺地域、周辺小学校を対象としたアンケート調査や考える会のワークショップの中でも、「れんが通りは棠鴨北中のシンボル、棠鴨北中らしいもの」という声が多数ありました。
- れんが通りは、学校の教育環境、学校としての機能を第一にすることを大切にしながらも、地域開放、防災利用の視点に配慮し、現在の位置にこだわらず、最も効果的な場所に整備します。
- 「雨の日は滑りやすく危険」という声もあるため、歩きやすさ、材質、バリアフリーの視点にも配慮します。

#### ② にぎわいを生み、交流の場となる広い校庭

- 校庭はスポーツ開放（野球・サッカー等）の場として地域からもよく利用されており、今後も多くの人々が校庭を利用すると思われる。スポーツ開放を通して、学校と地域、あるいは地

域の方々が交流できる場となっているため、今後も地域開放等が継続して行える、広く、安全性にも配慮した校庭を整備します。

### ③ 四季の移り変わりや彩り、伝統を感じる学校

- ・ 巣鴨北中には、れんが通りの両脇の花壇、正門入口の芝生広場、豊島区発祥のソメイヨシノなど、みどりが溢れており、生徒たちはもちろんのこと、保護者や地域からも「気持ち安らく」「四季を感じることができる」といった意見があります。建替え後も、四季や豊島区の伝統を肌で感じることができるよう、自然環境を整備していきます。

## 3. 地域とつながる学校

### ① 地域のまちづくりに貢献する地域開放施設

- ・ 巣鴨北中周辺は、町会、商店街（庚申塚商栄会）の活動も盛んで、大正大学も隣接していることから、学校と地域のつながりを大切にしている地域です。学校施設の管理・運営に支障がないよう十分に配慮しながら、地域開放の充実を図ります。
- ・ 校庭や体育館などのスポーツ施設開放の他、町会・商店街等の活動、地域のまちづくり活動でも使用できる地域開放施設を整備します。
- ・ また、体育館やその他学校内の地域開放施設については、誰もが利用しやすいように多目的に活用できる機能を検討します。

### ② 学校施設・地域開放施設としての安全性・利便性に配慮した建物配置

- ・ 地域開放施設として、バリアフリーに配慮した誰もが使いやすい施設にするとともに、利便性を高めた配置とします。
- ・ 夜間、休日の施設開放の在り方について、安全管理・セキュリティ面に配慮し、多様な管理体制に対応できるように整備します。

### ③ 周辺地域への影響や調和

- ・ 日かげや土埃など、地域に対する負荷を軽減します。
- ・ 敷地外周には、樹木・歩道状空地を活用し、周辺地域と調和の取れた施設を整備します。
- ・ 歩道状空地、まちかど広場を設けるなど、敷地の一部を地域の方が利用できるようにします。

## 4. 地域の防災拠点としての学校

### ① 災害用設備の充実

- ・ 巣鴨北中は、救援センターとして位置付けられていることから、防災備蓄倉庫、防災資機材倉庫、非常用発電設備、かまどベンチ、マンホールトイレ、防災井戸の設置、プールの水利用など、災害時に活用できる設備を整備します。

- ・大正大学と隣接していることから、物資面で協力し合えるよう、防災備蓄倉庫等を大正大学と連携しやすい位置に配置するなどの工夫をします。

## ② 避難通路の確保

- ・校門等の出入口は、災害時に避難者や緊急車両が出入りしやすいよう、幅を広くするなど工夫をし、災害時の周辺住民等の避難経路を確保します。
- ・巣鴨北中と大正大学が災害時に行き来しやすいよう、門や校舎の配置を工夫します。

## ③ 避難生活に対応できる機能の確保

- ・救援センターには様々な方が避難をしてきて、一定期間避難生活を送ることが考えられます。多様な利用者に配慮し、避難生活の居住性を確保できるよう、体育館の機能やトイレの配置など、福祉やバリアフリーの視点に立った整備をします。

### (3) 施設・機能の考え方（整備方針） —こんな風につくりたい—

#### 学校全体

- ・これまでの学校のよいところや雰囲気を継承する。
- ・統合前の大塚中と朝日中の歴史を継承する。
- ・学校施設は、周辺地域への影響（土埃や日かげ、建物の圧迫感）に配慮した配置とし、調和の取れた施設にする。
- ・校舎内は、明るく温かみがあり、懐かしさを感じる雰囲気にする。
- ・採光や通風、冷暖房設備の充実等、学校施設の環境を整備する。
- ・生徒や教職員のリフレッシュ・交流の場としてのスペースも整備する。
- ・死角の無い、できるだけシンプルなつくりとし、生徒たちの様子を地域が見守ることができるようにする。
- ・子ども、地域利用者及び災害時の避難者等、多様な利用者に配慮した施設配置にし、トイレや階段等、福祉やバリアフリーの視点に立った整備をする。
- ・時代とともに進歩する学習内容や学習形態、ICT 環境へ柔軟に対応できる設備を整備する。

#### 教室など

- ・採光や通風、冷暖房設備の充実等、子どもの「学習の場」としての室内環境を整備する。
- ・普通教室は廊下から中の様子が分かるようにし、生徒の学習の妨げにならないように整備する。
- ・仕切りのないオープン型教室や可動間仕切りを使った教室等の導入も検討する。
- ・特別支援学級は、適切な配置・規模・設備とし、生徒の学習や研究成果を展示・発表できるように整備する。
- ・これまでのオープン図書室のように、開放感があり、皆が交流できるスペースを整備する。
- ・職員室等の管理諸室は、校庭・出入口等への見通しがよく、校内への移動もしやすく、生徒との距離感が近いと感じられる配置にする。また、部屋の設備については、教職員の意向も踏ま

えて整備する。

- ・保健室等、けが人に対応する部屋は、校庭、緊急車両への行き来がしやすい配置とする。

### 体育館・武道場

- ・災害時の避難生活の場として機能するよう、多様な利用者に配慮し、福祉やバリアフリーの視点に立った設備や配置とする。
- ・トイレや防災倉庫・備蓄倉庫等の連携に配慮する。
- ・更衣室との行き来がしやすい配置とする。
- ・スポーツ開放施設として、出入口の場所、管理の仕方に十分配慮した施設とする。
- ・音や振動など、周辺地域への影響に配慮した施設とする。

### プール

- ・屋内とし、安全面、衛生面、維持管理面等に配慮し、配置や設備等を検討する。
- ・更衣室との行き来がしやすい配置とする。
- ・プールの水は災害時に活用できるようにする。

### 共用部分

- ・玄関や廊下は明るく開放的で、温かみのある空間とする。
- ・トイレは全て洋式とし、生徒数に応じた個数や配置、また機能的で明るく開放的な空間とする。
- ・機能的な手洗い場とし、水飲み場も含め生徒数に応じて適正な箇所に整備する。

### 地域開放施設

- ・学校施設に支障がないように十分配慮しながら、地域開放スペースを整備する。
- ・校庭や体育館のスポーツ開放のほか、周辺の町会・商店街の活動、あるいは地域のまちづくり活動に貢献できる地域開放施設を学校施設内に整備する。
- ・地域と学校が何らかの形で触れ合える・交流しやすい施設、機会をつくる。
- ・多様な利用者が活用できるよう、バリアフリーの視点に立った使いやすい施設を整備する。
- ・地域からアクセスしやすい場所に配置する。
- ・入口を分けるなど、学校施設と地域開放施設とのゾーン分けや管理上の区分けを工夫する。
- ・夜間、休日開放の在り方と、それらに応じたルールづくりや状況に応じた管理方法を十分に検討する。
- ・学校の立場としての安全管理、セキュリティ面に十分配慮した施設とする。
- ・自転車置き場を設ける。また、イベント時にも臨時に自転車が置けるスペースを確保する。

＜その他、地域開放施設の在り方についてワークショップで出された主な意見＞

- ・校舎配置も工夫して学校内の様子が地域から見えるようにする。
- ・体育館やその他学校内の地域開放施設については、誰もが利用しやすいよう、多目的に活用できる機能（例：音響設備等の充実など）とし、災害時にも対応可能な設備に整備します。

### 校庭など

- ・校庭はできるだけ広くし（現在の面積と同程度）、部活動等の運動がしやすく、死角の少ない形状にする。

### れんが通り

- ・歩きやすさ、滑りにくい材質、バリアフリーの視点にも配慮したものを整備する。
- ・配置は現在の位置にとらわれず、学校の教育環境、地域開放、防災利用の視点に配慮した、最も効果的な場所にする。

〈れんが通りの設置位置についてワークショップで出された主な意見〉

- ・地域開放の視点から、北側の道路に沿って歩道状空地として設置する。
- ・行き来がしやすいよう、正門から裏門へつなげる案も検討する。
- ・学校内で、学校施設ゾーンと地域開放ゾーンの境となるように設置する。 など

### 防災・災害時

- ・災害時は救援センターとしての機能を十分に発揮できる施設として整備する。防災備蓄倉庫、防災資機材倉庫、非常用発電設備、かまどベンチ、災害用マンホールトイレ、防災井戸の設置、また、プールの水を災害時に活用できる設備とする。
- ・校門等の出入口は、災害時に避難者や緊急車両が出入りしやすいよう、幅を広めにするなどの工夫をする。
- ・周辺住民等の避難経路を確保する。例えば、敷地外周部に歩道上空地やまちかど広場を整備することで、非常時は避難通路とし、どこからでも避難しやすい空間として整備する。
- ・敷地周辺部には火災に強い樹木を植栽し、防火林として整備する。
- ・避難者の受入れ機能や支援・救援物資の運搬スペース等、効率的に機能分担できるように検討する。
- ・多様な利用者に配慮して避難生活時の居住性を維持できるよう、体育館の機能やトイレの配置など、福祉やバリアフリーの視点に立った整備を図る。

〈その他、防災・災害時についてワークショップで出された主な意見〉

- ・校庭、体育館などの地域開放施設については、防災設備として、太陽光照明の確保とより一層の充実を図る。 など

### 環境への配慮・環境学習





- ・現在の自然環境や雰囲気を受け継ぐ。
- ・周辺地域との調和に配慮した緑化計画とする。その際、既存樹木の活用、新規樹木、屋上緑化、壁面緑化等、敷地内の緑化の推進を図る。
- ・環境負荷の低減や自然との共生に配慮し、生徒たちの環境教育の場としての機能（太陽光発電、雨水利用、屋上緑化等）を整備する。



- 屋上や校庭に、菜園など自然体験ができる設備を整備する。
- 温熱効果ガスの排出量を削減するために、断熱化や日射遮蔽等、建物性能の向上を図るとともに、照明や冷暖房設備等の効率化を図る。

<空白ページ>

(4) 配置計画とその特徴・・・施設配置に関して、4つのプランについて模型を使って意見交換をしました。

	A案	B案	C案	D案
				
案の特徴【校舎】	商店街に校舎が面する案 <ul style="list-style-type: none"> <li>正門付近まで校舎にする</li> <li>教室と体育館または特別教室を分けて配置する</li> </ul>	グラウンドを広く取る案 <ul style="list-style-type: none"> <li>北側にコンパクトにまとめて配置する</li> <li>屋上は段状のオープンテラス</li> </ul>	校舎を東側に配置する案 <ul style="list-style-type: none"> <li>東南の敷地境界に面して校舎を配置し、北側に体育館や特別教室を配置する</li> </ul>	現在の配置に近い案 <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎は今より前（校庭側）に出る</li> <li>体育館と特別教室をコンパクトにまとめて配置する</li> </ul>
案の特徴【校庭】	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側に広く取ることができる</li> <li>災害時に広いスペースとして活用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央部分に広く取ることができる</li> <li>校庭の日当たりがよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在とほぼ同じ広さを取れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球場として使う場合、形状は良くなる</li> <li>校庭が現状より狭くなる</li> </ul>
案の特徴【れんが通り】	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎の間を直線的に通す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西側の道路沿いに、地域に開放された形で通す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西側の道路沿いに、地域に開放された形で通す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎の間を直線的に通す</li> </ul>
その他良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域開放部分が商店街に近いので、商店街との連携しやすく、賑わいに貢献できる</li> <li>地域開放ゾーンと学校施設ゾーンがしっかり分けられる</li> <li>体育館が別の出入口となるので、地域開放の管理がしやすい</li> <li>教室の日当たりがよい</li> <li>近隣には日照等で一番迷惑を掛けない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きなオープンスペースを確保できる</li> <li>れんが通りを地域も利用可能</li> <li>大正大学との避難所連携がしやすい</li> <li>学校開放等を考えた時、校舎近くに門を設けた方が管理しやすい</li> <li>街路樹・校内の緑化ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>密集市街地側に壁をつくり災害時の影響を少なくできる</li> <li>れんが通りを地域も利用可能</li> <li>学校開放等を考えた時、校舎近くに門を設けた方が管理しやすい</li> <li>街路樹・校内の緑化ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状に近く、慣れている配置でよい</li> <li>校庭の日当たりがよい</li> <li>東側にも歩道を取ることで通り抜けができる</li> <li>コンパクトにまとまっていて分かりやすい</li> <li>地域開放の面でも使いやすい</li> <li>建物内の配置によって使いやすさが変わりそう</li> <li>北側校舎に吹き抜けが取れそうなのはよい</li> </ul>
課題及び解決策・提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に校庭に入りにくい。緊急車両のアクセスが心配（1本しかルートがない） ⇒れんが通りを十分な幅（6m）にする</li> <li>吹き抜け部分が災害時の全ての大型車に対応できるかどうか（天井高さや間口の広さなど）</li> <li>北側への砂埃の影響が出る ⇒周辺を緑化、またはスプリンクラーで対応する</li> <li>授業風景が外から見られない</li> <li>学校・教室が見渡せないなので、防犯面・安全面が心配である</li> <li>現在の芝生広場のスペースがなくなる</li> <li>裏道から校庭に入れない</li> </ul> <p>&lt;提案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体育館に自主管理用の出入口をつくる</li> <li>中学校と大正大学で、地域開放の使い方を分ける（例：施設内は中学校、広場等スペースは大学担当）（非常時の駐車場等にも活用可能）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側の住宅への影響（日かげ）</li> <li>給食室の音と臭いの影響</li> <li>校庭が大正大学側に面しているので、土埃などで苦情が出る</li> </ul> <p>&lt;提案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正門の位置を大学側につくってはどうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭が狭くなる（サッカーや野球をすることを考えると校庭が狭い）</li> <li>校庭が大正大学側に面しているので、土埃などで苦情が出る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭が狭くなり、敷地に若干のデッドスペースができてしまう</li> <li>れんが通りの開放、地域開放とセキュリティのバランスが難しい。れんが通りをこのラインに残すことで、門の位置が限定される（2か所）</li> <li>北（北東）側に日かげの影響が出る</li> <li>校舎内の移動距離が長い</li> <li>今ある芝生を残すと駐輪ができなくなる。体育祭などの駐輪場所の確保</li> <li>地域開放エリアと学校エリアのセキュリティ区分</li> <li>れんが通りを一般通行として利用するには、防犯面が心配。開放のルール、運用方法が課題</li> <li>外周の「通路」の位置づけ、意味を明確にする必要がある</li> <li>西側の校舎とれんが通りが近い、開放した時に問題が生じそう</li> </ul>

< 空白ページ >

#### 4. 巣鴨北中学校の改築に向けた参考意見について

地域説明会を実施し、参加者からいただいた意見を以下のようにまとめました。

##### (1) 実施概要

- ① 日 時 平成 27 年 3 月 18 日 (水) 19:00~19:30
- ② 会 場 巣鴨北中学校ランチルーム
- ③ 参加者 来場者 13 名、委員 12 名、事務局 4 名、コンサルタント 3 名

##### (2) 当日のプログラム

- ① 開会 (考える会の活動経緯の説明など)
- ② 会長あいさつ
- ③ 委員紹介
- ④ 提言書 (案) の内容説明
- ⑤ 質疑応答など
- ⑥ 閉会

##### (3) 当日の様子



受付



司会進行



会長あいさつ



提言書(案)の説明



今後の進め方の説明

##### (4) 意見交換の内容

###### <仮校舎について>

質問・ご意見	回答
仮校舎 (旧朝日中) は、校庭が使えるのか。	仮校舎は、旧朝日中を活用し、校庭も使用可能である。(豊島区からの回答)

###### <今後の進め方について>

委員からの意見
提言書を区長へ提出した後、基本・実施設計、工事と進むが、その都度、説明会等を開催し、地域からの意見や要望を聞きながら取り組みたいと考えている。(副会長)

## 資料編

### ●「巣鴨北中学校の建替え等を考える会」における検討経過

#### (1) 活動概要

回	開催日	内容	備考
第1回	平成26年 6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>会の設立と進め方について</li> <li>巣鴨北中学校の現況等について</li> </ul>	
第2回	7月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校建築について（勉強会） （東洋大学名誉教授、(株)教育環境研究所理事長 長澤 悟 氏の講義）</li> <li>先進事例視察について</li> <li>アンケート調査について</li> </ul>	ニュース①発行
見学会	7月23日	①北区立赤羽岩淵中学校 ②豊島区立西池袋中学校	
第3回	9月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進事例視察の報告</li> <li>ワークショップ① 「建替への思いを共有する」 テーマ：●今の学校の「良いところ」、建替への「思い」と「目指すもの」を話し合おう</li> </ul>	アンケート調査実施
第4回	10月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ② 「計画の方針づくり1」 テーマ：●今の学校のよいところを残す ●地域とのつながりを考える ●災害時の利用を考える</li> </ul>	ニュース②発行
第5回	11月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ③ 「計画の方針づくり2」 テーマ：●環境への配慮 ●学校施設と地域開放を考える ●校舎・校庭などの配置を考える</li> </ul>	ニュース③発行
第6回	12月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ④ 「計画の方針づくり3」 テーマ：●配置案をもとにコンセプト案をつくる</li> </ul>	
第7回	1月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>提言書（案） コンセプト・基本方針・整備方針まとめ</li> <li>今後のスケジュールについて</li> </ul>	
第8回	2月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>提言書（案）について</li> <li>地域説明会の進め方について</li> </ul>	
地域説明会	3月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域説明会（意見・質疑）</li> </ul>	
第9回	4月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域説明会の報告について</li> <li>区長提言の進め方について</li> </ul>	ニュース④発行
区長提言	5月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>提言書提出（考える会会長から区長へ）</li> </ul>	
	5～6月		ニュース⑤発行予定



## (2) 学校見学会の記録

### ①北区立赤羽岩淵中学校（平成 26 年 7 月 23 日）

校舎は敷地北側にコンパクトに集約されており、商店街のアーケードに面した1階部分に美術室、技術室、音楽室等の特別教室を配置することで、生徒の作品・展示物・創作活動を外から観られるように工夫されているのが特徴的でした。



開放感のあるエントランスホール



大階段と資料展示スペース



ギャラリーウォール（商店街側）



地域開放用受付



体育館（3階）



新世代型学習空間（2～4階）



普通教室



理科室前 理科ギャラリー



教室前の廊下と壁面掲示板



校庭  
（200mトラックが確保できる）



プール（屋上：5階）  
（南側に太陽光パネル型庇を設置）



太陽光パネルと屋上緑化



②豊島区立西池袋中学校（平成 26 年 7 月 23 日）

冷暖房を完備した体育館や太陽光発電設備、屋上緑化・壁面緑化など、設備・施設面において豊島区立中学校の中で最も新しい学校です。校内に光と風を取り込むライトコート、普通教室前廊下スペースに設けられたホールが印象的で、「学習の場・生活の場・地域の拠点」としての学校づくりがなされていました。



校庭（屋上から）



昇降口



普通教室



多目的ルーム（可動間仕切り有り）



教室廊下前のホール（各階）



冷暖房を完備した体育館  
（災害時の避難場所）



図書室



音楽室（階段状の造り）



屋上プール  
（災害時防火水槽、マンホールトイレ排水）



屋上の太陽光パネル（40kW）



屋上緑化



屋上緑化（3階部分）

### (3) アンケート調査の概要

提言書策定の参考とするため、巣鴨北中学校の生徒・保護者・教職員、巣鴨北中学校学区の小学校（清和小・西巣鴨小・豊成小・朝日小）PTA 及び 5～6 年生児童、地域の方々を対象にアンケート調査を実施しました。

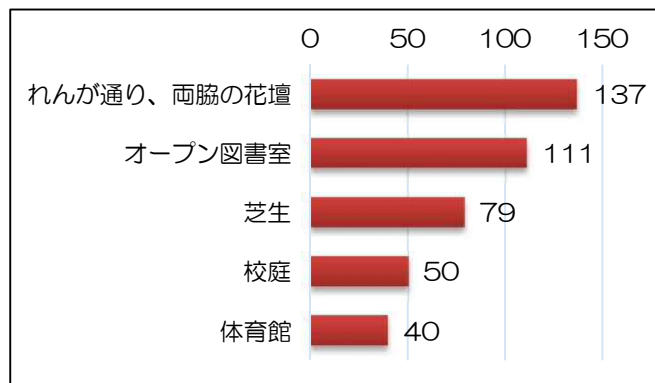
配布対象		配布数	回収数	回収率
巣鴨北中学校	生徒	446	398	89.2%
	保護者	415	99	23.9%
	教職員	40	21	52.5%
周辺小学校 (清和小・西巣鴨小・ 豊成小・朝日小)	児童（5～6 年生）	376	331	88.0%
	PTA（各校 10 名）	40	21	52.5%
地域	通学区域の町会（各町会 10 名）	210	52	24.8%
合計		1,527	922	60.4%

#### ■調査結果の一部紹介

【良いと思うところ・お気に入りの場所】（複数回答可）

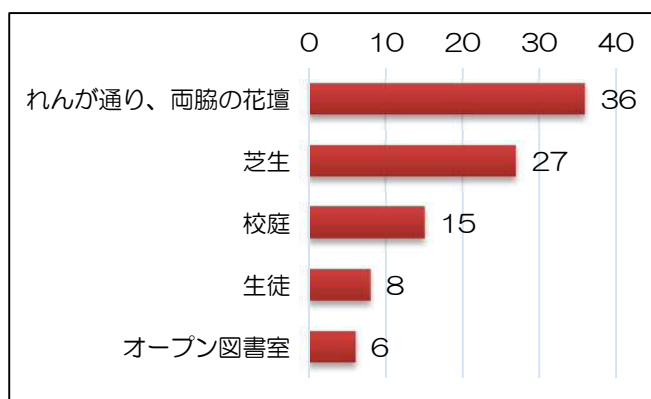
##### ●巣鴨北中学校 生徒（回答件数：561）

最も多かったのは、正門から昇降口まで続く「れんが通り・両脇の花壇」についてです。校歌の歌詞にもある「れんが通り」は、やはり巣鴨北中のシンボルとなるもののようです。また、区内の中学校で最も広い校庭も意見として挙がっています。



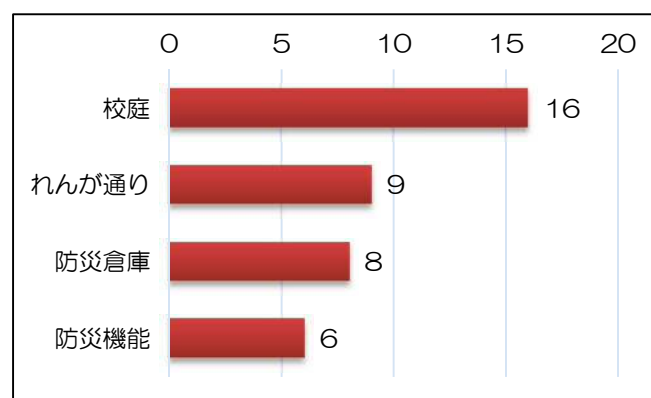
● 業鴨北中学校 保護者（回答件数：143）

生徒と同様、「れんが通り・両脇の花壇」が最も多い意見となっています。次いで、「芝生」が多く、主な意見として運動会の時にくつろげるという声も挙がっています。



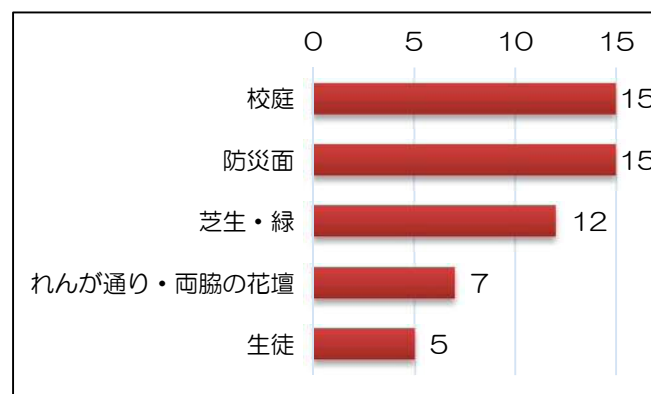
● 周辺小学校 PTA（回答件数：87）

PTAの方々からは、「校庭」という意見が多く挙がりました。また、防災面についても回答があり、「防災倉庫・防災機能」をきちんと備えていることが大切だという意見が挙がりました。



● 地域（回答件数：69）

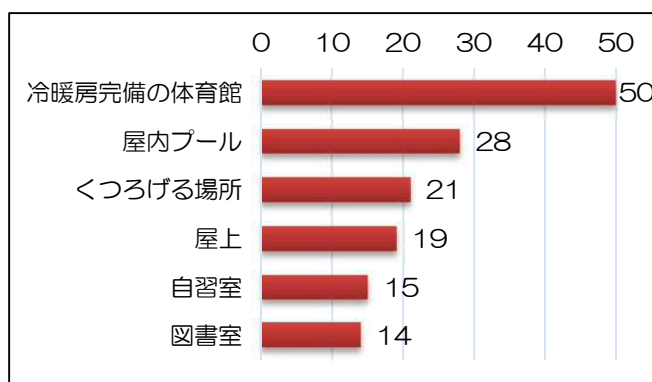
地域の方々からは、「防災面」、「校庭」という意見が最も多く挙がりました。防災備蓄倉庫や広い校庭があると安心だという声が挙がっており、周辺小学校PTA同様、災害時の避難場所としての機能充実を望んでいるようです。



【新しい学校にほしいもの】（複数回答可）

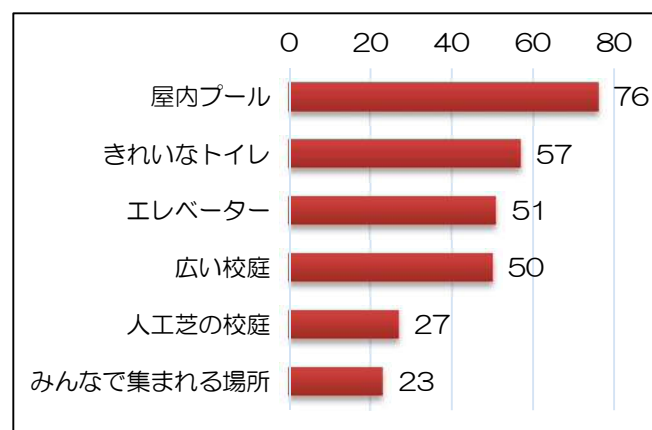
● 巣鴨北中学校 生徒（回答件数：454）

最も多かった意見は、「冷暖房完備の体育館」、次いで「屋内プール」となっています。また、「くつろげる場所」や「自習室」といった意見も挙がっており、快適な生活環境・学習環境を確保したいという思いが伝わってきます。



● 周辺小学校 児童（5～6年生）（回答件数：808）

中学校生徒の意見でも2番目に多かった「屋内プール」が、児童の意見では最も多くなっています。その他には、「きれいなトイレ」、「エレベーター」、「広い校庭」といった意見が多く挙がっています。



【その他自由意見】

- ・生徒たちが安心して安全に過ごせる場所になれば良いと思う。
- ・「こんなに良い学校なら行きたい」と思えるような教育環境づくりをしてほしい。
- ・卒業生も懐かしさが感じられるような校舎になれば良いと思う。
- ・親になった時、思い出話ができるよう、れんが通りなどは少しでも残してほしい。
- ・地域から愛される学校、交流の場となれば良いと思う。 など



#### (4) 検討の様子、ワークショップの概要

##### ①ワークショップの目的

棠鴨北中学校をどのような学校にしたいか、より多くの意見・要望を挙げ、建替えに関する基本構想（提言書）のコンセプト、基本方針、整備方針、施設配置等に反映させることを目的としました。

##### ②ワークショップの内容

#### ■ ワークショップ1（9月1日）

テーマ：【今の学校の「良いところ」、建替への  
「思い」と「目指すもの」を話し合おう】

第1回WSでは、見学会で訪れた学校の写真も用いて、今の学校の「よいところ」を比較・検討しました。また、施設計画の具体的な検討に入る前に、委員それぞれの思いを出し合い、目指すべき方向性を確認しました。

➡ 各グループからの意見：P.26～27 参照



#### ■ ワークショップ2（10月3日）

テーマ：【今の学校のよいところを残す】

【地域とのつながりを考える】

【災害時の利用を考える】

第2回WSでは、第1回WSでも話し合ったよいところについて、どのような形で残すことができるか検討しました。また、現在及びこれからの地域連携の在り方、災害時を考慮した学校施設の在り方についても検討しました。

➡ 各テーマに対する意見：P.27～28 参照





## ■ ワークショップ3 (11月5日)

テーマ：【環境への配慮】

【学校施設と地域開放を考える】

【校舎・校庭などの配置考える】

第3回WSでは、環境面（学習・生活・近隣への配慮・自然エネルギーの利活用等）についてや、地域開放を考慮した施設づくり、ルールづくり、あるいは校舎・校庭の配置について検討しました。

➡ 各テーマに対する意見：P.29～30 参照



## ■ ワークショップ4 (12月9日)

テーマ：【配置案をもとにコンセプト案をつくる】

第4回WSでは、第3回WSで出された校舎・校庭の配置案（A～D案）ごとに、テーマに沿ってよい点、課題を検討しました。

そして、建替えに対する思いをより具体的に言葉で表現するために、テーマごとにキーワードを抽出しました。

➡ 各配置案に対する意見：P.31～34 参照

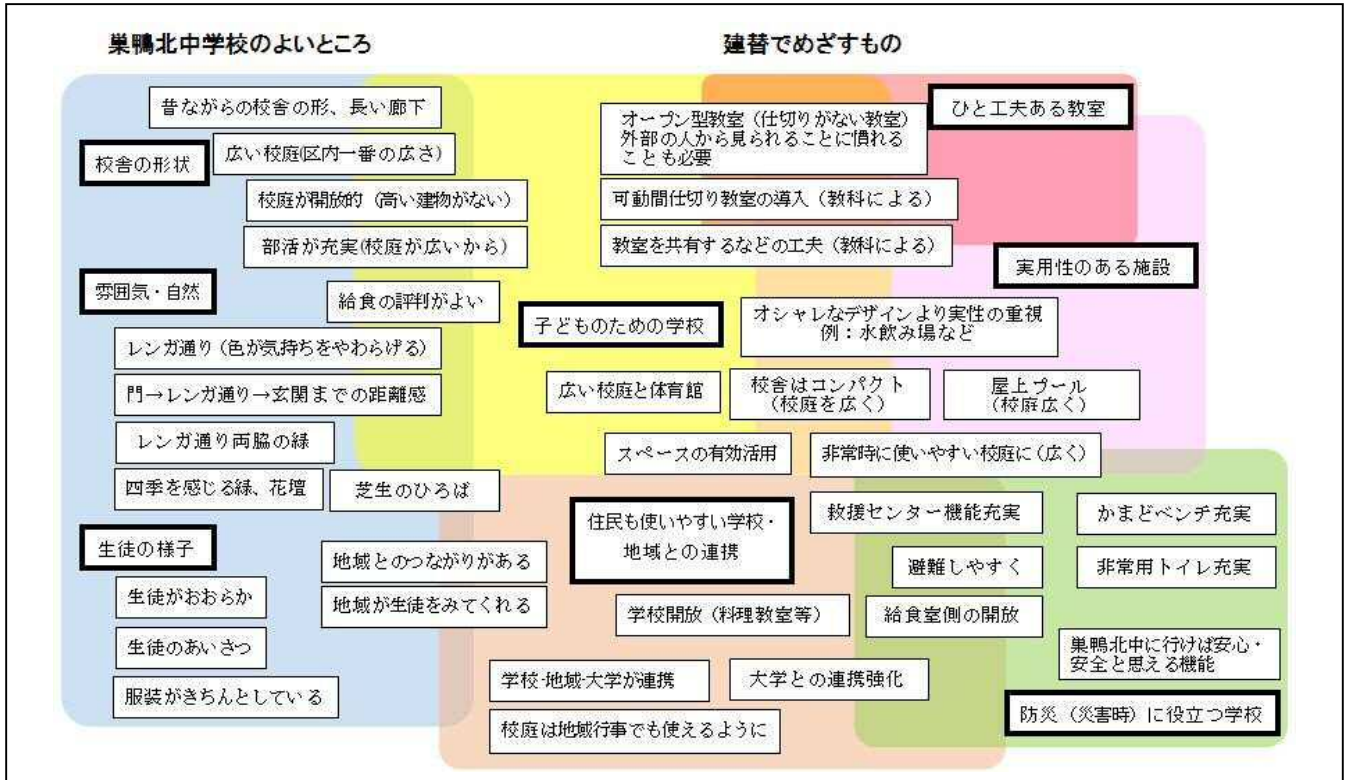


### ③ワークショップからの意見

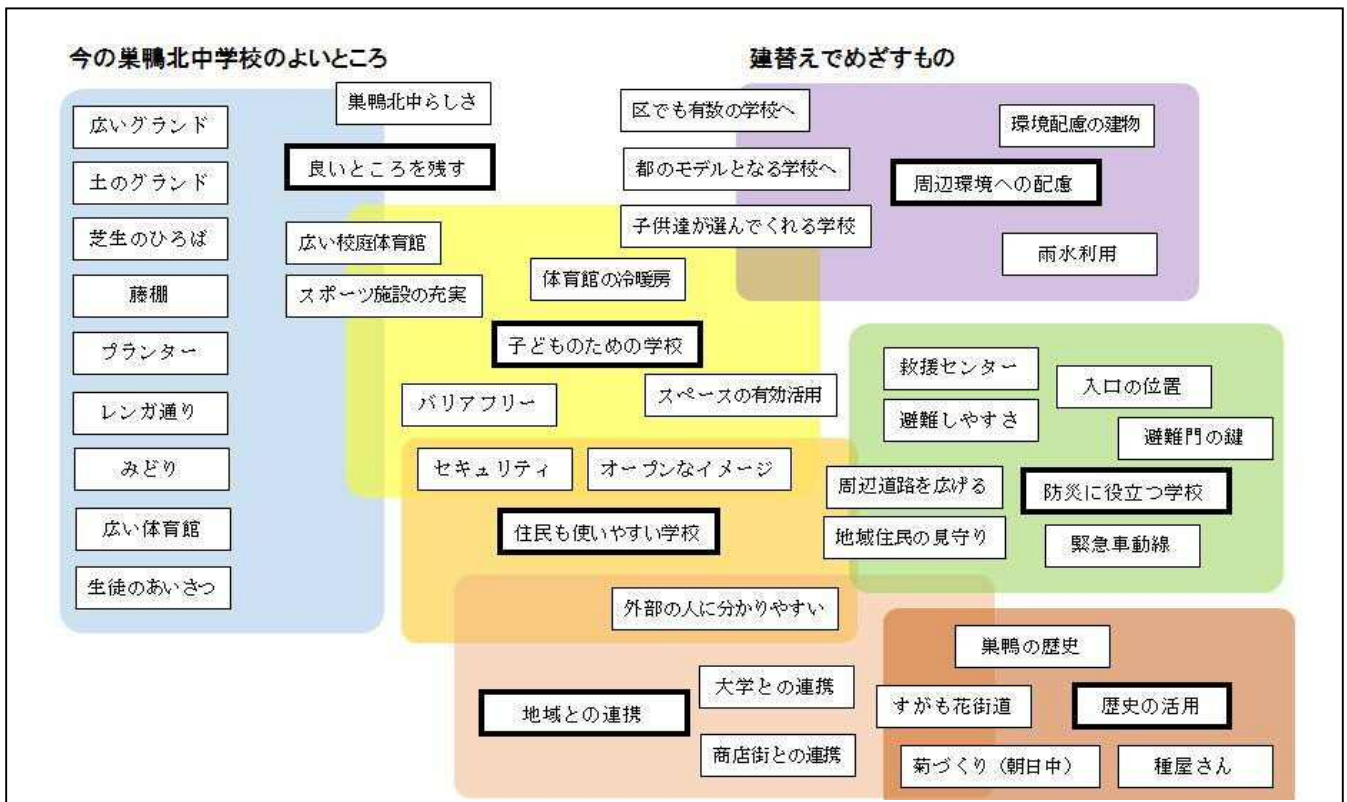
#### ワークショップ1

テーマ：今の学校の「良いところ」、建替への「思い」と「目指すもの」を話し合おう

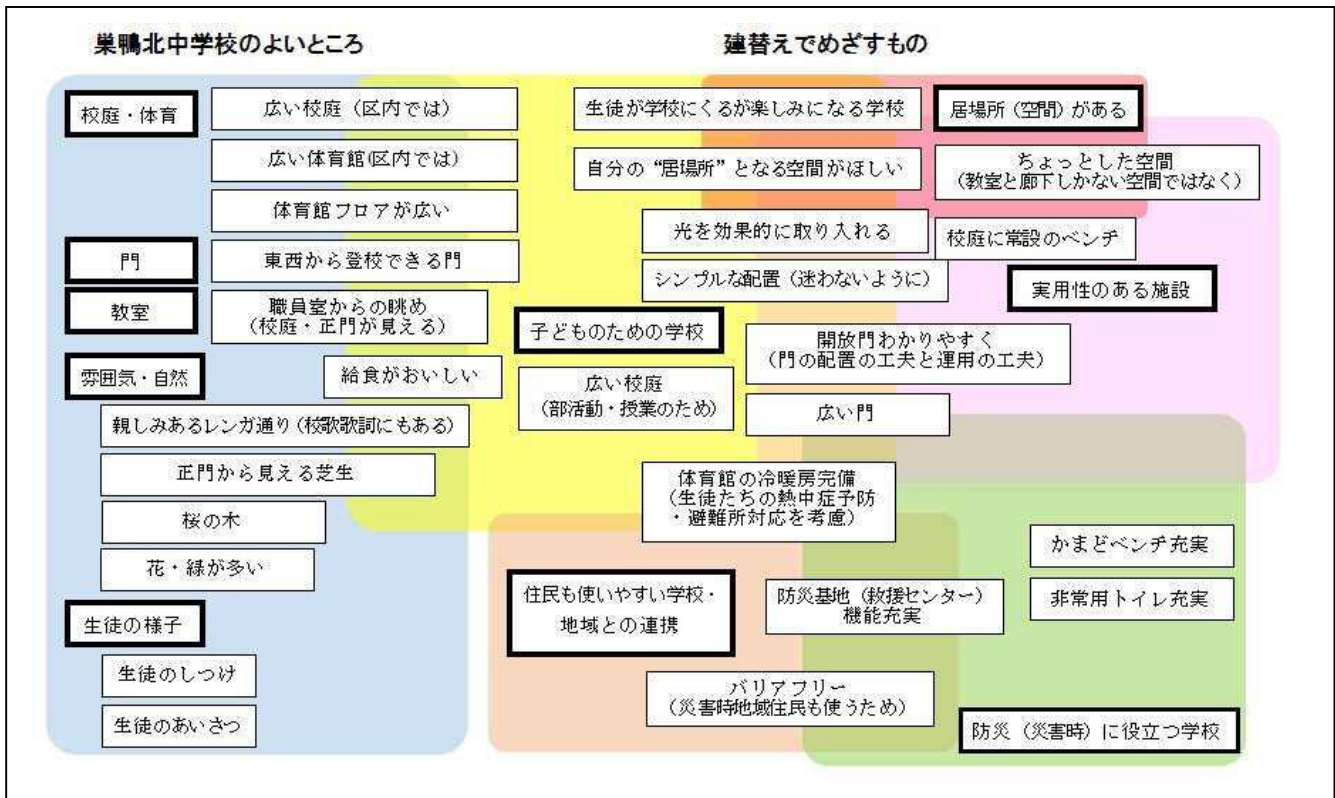
#### A グループの意見



#### B グループの意見



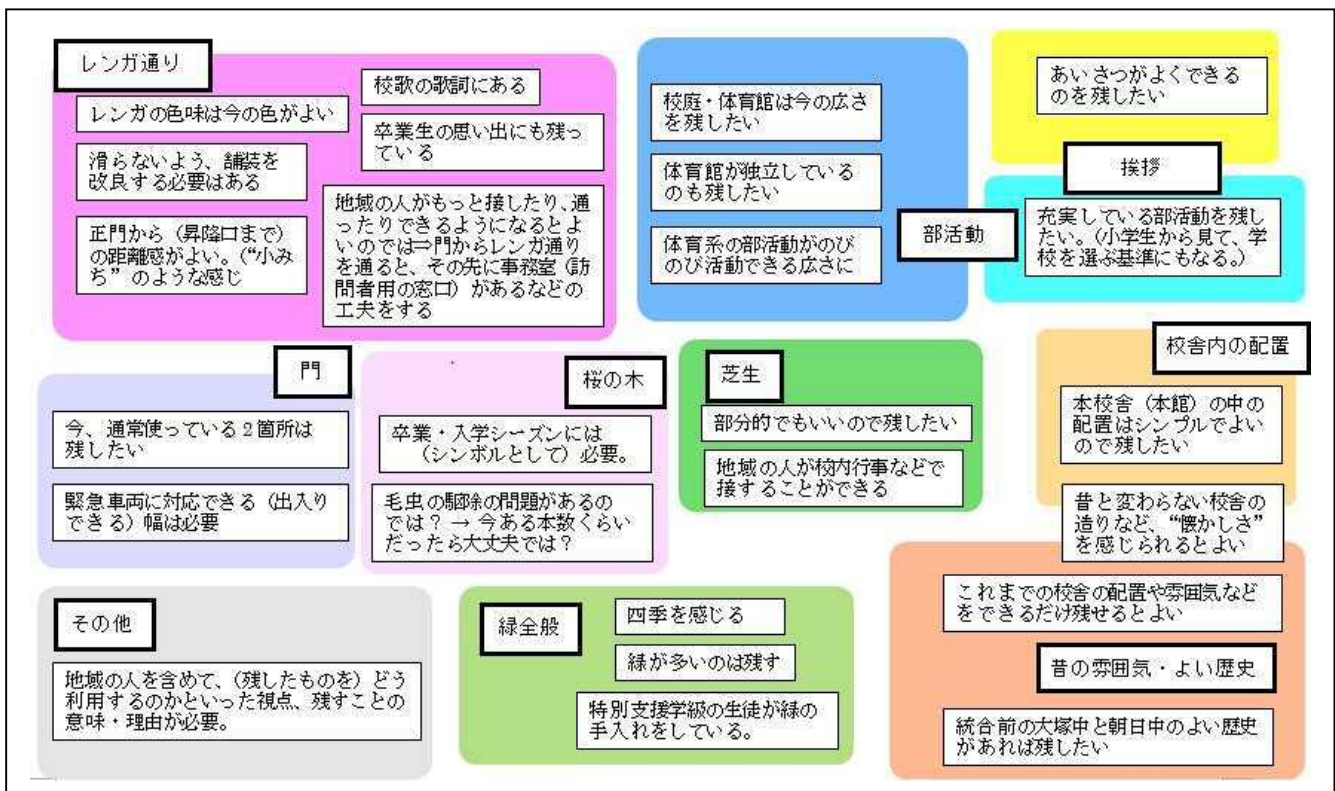
C グループの意見



ワークショップ2

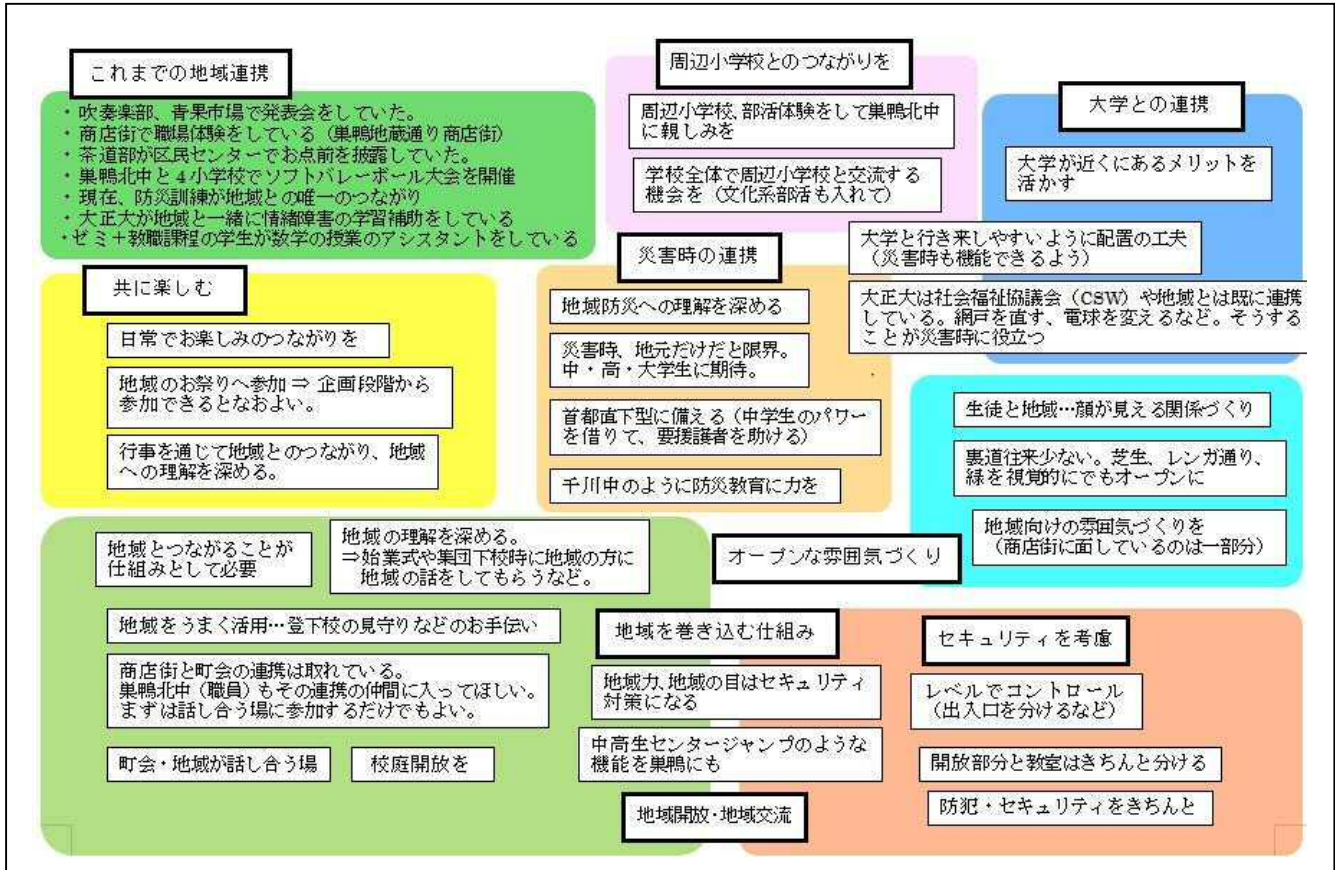
テーマ：●今の学校のよいところを残す ●地域とのつながりを考える ●災害時の利用を考える

今の学校のよいところを残す

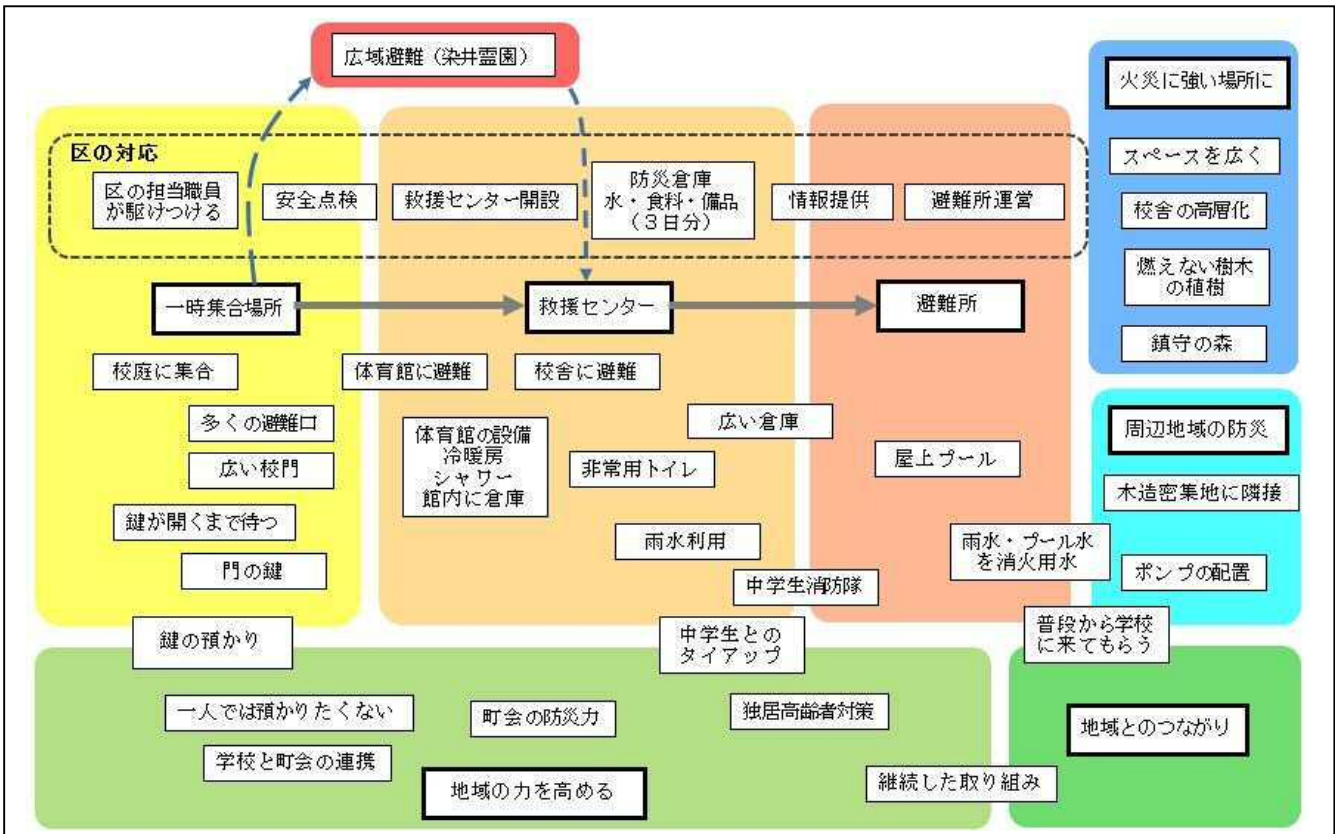




## 地域とのつながりを考える



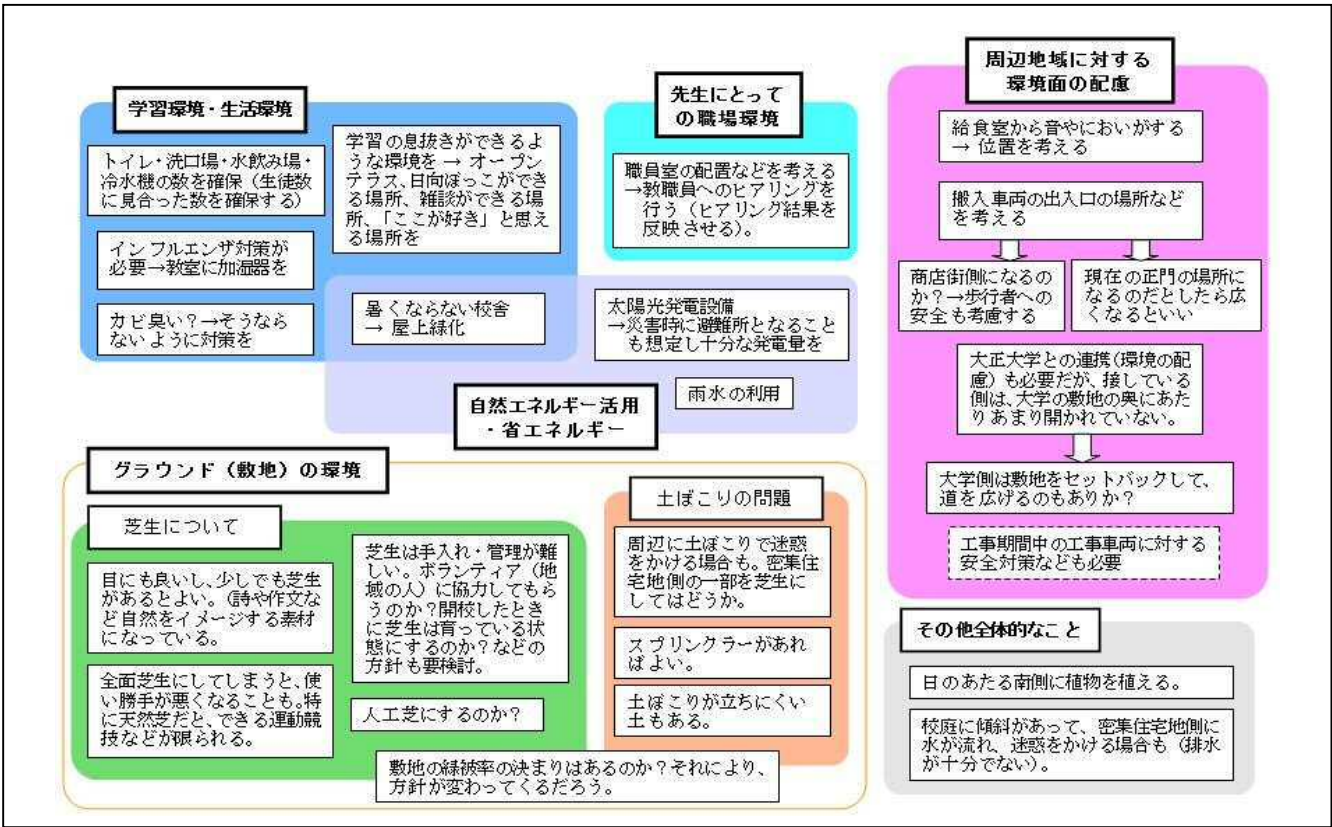
## 災害時の利用を考える



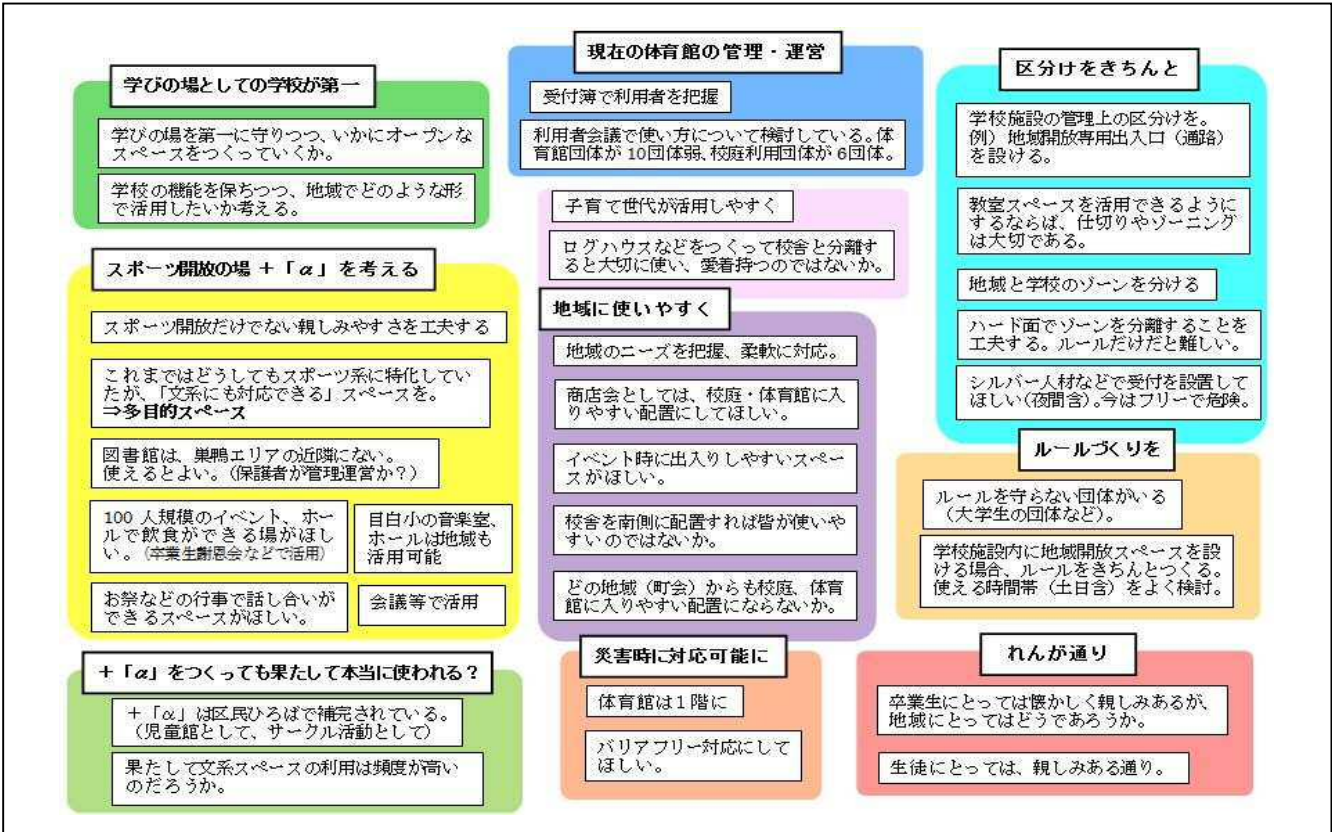
# ワークショップ3

テーマ：●環境への配慮 ●学校施設と地域開放を考える ●校舎・校庭などの配置考える

## 環境への配慮



## 学校施設と地域開放を考える





校舎・校庭などの配置考える

	A案	B案	C案	D案
				
案の特徴	<b>商店街に校舎が顔を出す案</b>	<b>グラウンドを広く取る案</b>	<b>校舎を東側に配置する案</b>	<b>現在の配置に近い案</b>
校舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正門付近まで校舎にする</li> <li>・教室と体育館または特別教室を分けて配置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北側にコンパクトにまとめて配置する</li> <li>・屋上は段状のオープンテラス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東南の敷地境界に面して校舎を配置し、北側に体育館や特別教室を配置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎は今より校庭側になる</li> <li>・体育館と特別教室をコンパクトにまとめて配置する</li> </ul>
校庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北側に広く取ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央部分に広く取ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在とほぼ同じ広さとなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー場はやや狭くなる</li> <li>・野球場の形は良くなる</li> </ul>
れんが通り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎の間を直線的に通す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西側の道路沿いに地域に開放された形で通す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西側の道路沿いに地域に開放された形で通す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎の間を直線的に通す</li> </ul>
良い所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の賑わいに貢献できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなオープンスペースを確保できる</li> <li>・れんが通りを地域も利用</li> <li>・校庭の日当たりがよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・密集市街地側に壁をつくり災害時の影響を少なくできる</li> <li>・れんが通りを地域も利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慣れている配置</li> <li>・校庭の日当たりがよい</li> <li>・東側にも歩道を取り、通り抜けできる</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に校庭に入りにくい →れんが通りを十分な広さに</li> <li>・北側への砂埃の影響が出る →校庭を人工芝に</li> <li>・れんが通りの開放 →地域開放とセキュリティのバランス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北側の住宅への影響</li> <li>・給食室の音と臭いの影響</li> <li>・校庭が大正大学側となり苦情が出ないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭が狭くなる</li> <li>・校庭が大正大学側となり苦情が出ないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭が狭くなる</li> <li>・れんが通りの開放 →地域開放とセキュリティのバランス</li> </ul>



## ワークショップ4

テーマ：『配置案をもとにコンセプト案をつくる』

### A案グループの意見

	よいところ	課題
学校のよいところを残す	<ul style="list-style-type: none"> <li>●れんが通りを拡幅する（6m）</li> <li>●広い校庭</li> </ul>	
地域とのつながり 学校開放	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域開放部分が商店街に近い⇒商店街と連携しやすい</li> <li>●地域開放施設と学校施設の出入口を分けられる</li> </ul> <p>&lt;提案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●体育館に自主管理用の出入口をつくる</li> <li>●中学校と大正大学で、地域開放の使い方を分ける (例：施設内は中学校、広場等スペースは大学担当（非常時には駐車場等にも活用可能）)</li> <li>●大正大学とのつながりのあり方 ⇒大学としては、災害時等も含めて地域に開くことは可能 ⇒広場等のスペースを提供する可能性はある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会議室等を設置したとして、活用されるか</li> <li>●芝生等の広場スペースがなくなる⇒大正大学で対応が可能</li> </ul>
災害時の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北側校庭、広いスペースが活用できる（4町会の避難場所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大学と連携をすることができるか（A案の配置だと物理的に難しい）</li> <li>●緊急車両のアクセスが心配</li> <li>●吹き抜け部分が災害時のすべての大型車に対応できるか（天井高さ、間口が狭いなど）</li> <li>●外から校庭へのルートが1本だけで、すれ違いができない</li> <li>●裏道から校庭に入れない。（れんが通りを校庭裏に通しても、外部の裏道が狭い）</li> </ul>
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教室の日当たりがよい</li> </ul>	

	<p>&lt;提案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化、緑を増やすことが可能。 ⇒砂埃も減る</li> <li>・校庭は砂でよい⇒砂埃はスプリンクラー等で対応可能</li> <li>・屋上緑化、学級菜園を（例：目白小）</li> </ul>	
学校施設の使いやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●校舎と地域開放ゾーンがしっかり分けられる</li> <li>●体育館が別の出入口になるため、地域開放の管理がしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業風景を外から見られなくなる</li> <li>●学校・教室が見渡せないなので、防犯面・安全面が心配</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近隣には一番迷惑をかけない案</li> <li>●地域にとって運動場が広いのはメリット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前回WSで話し合った学校施設として第一に考えるという視点が足りない</li> </ul>

**B+C案 グループの意見**

	よいところ	課題
学校のよいところを残す	<ul style="list-style-type: none"> <li>●れんが通りをつくる（敷地外周・室内）</li> <li>●広いグラウンド</li> </ul>	
地域とのつながり 学校開放	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正門の位置を大学側に作ってはどうか</li> <li>●グラウンドが大学側に面していると土埃などで苦情が来るのでは</li> <li>●地域に迷惑をかけない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●西側に太陽が来た時、北東側の住宅に影の影響がある</li> <li>●地域に迷惑をかけてしまう</li> <li>●北側を段状に</li> <li>●体育館の位置をもとの門に近いところに</li> <li>●人工芝にできれば土埃が立たなくてすむ</li> </ul>
災害時の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体育館は校庭に面するような形</li> <li>●大正大学との避難所の連携がしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人工芝は災害時に燃えてしまうので難しいのでは</li> </ul>
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●街路樹・校内の緑化ができる</li> </ul>	
学校施設の使いやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校開放等を考えた時校舎近くに門を設けた方が管理しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●5階建てにすると運営管理の面で難しい</li> <li>●C案はサッカーや野球をすることを考えると校庭が狭い</li> </ul>
その他		

## D案 グループの意見

	よいところ	課題
学校のよいところを残す	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今の配置（イメージ）が残っているのはよい</li> <li>●校庭の位置が今のままでよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●校庭が現状より狭い</li> <li>●れんが通りをこのラインに残すことで、門の位置が限定される（2か所）</li> </ul>
地域とのつながり 学校開放	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンパクトにまとまっているのは分かりやすい</li> <li>●地域開放の面でも使いやすい</li> <li>●外周の「通路」は、住宅地側はおもしろい試み（災害時の避難の面でも活用できる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体育祭などの駐輪場所をどうするのか</li> <li>●今ある芝生を残すと駐輪場所が確保できない</li> <li>●開放エリアと学校エリアのセキュリティの問題</li> <li>●れんが通りを一般通行として利用するには、防犯面が心配⇒開放のルール、運用が課題</li> <li>●外周の「通路」の位置づけ、意味を明確にする必要がある</li> <li>●外周の「通路」は大正大学側には不要ではないか</li> <li>●西側の校舎とれんが通りが近い、開放した時に問題が生じそう</li> </ul>
災害時の利用		
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●校庭の日当たりがよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北（北東）側が日影になる</li> </ul>
学校施設の使いやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北側校舎に吹き抜けが取れそうなのはよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建物内の配置によって使いやすさが変わりそう</li> <li>●校舎内の移動距離が長い</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>●敷地に若干のデッドスペースができてしまう</li> </ul>

(5)「巣鴨北中学校の建替え等を考える会」会則

巣鴨北中学校の建替え等を考える会 会則

(名称)

第1条 この会は、巣鴨北中学校の建替え等を考える会（以下、「本会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本会は、豊島区立巣鴨北中学校（以下、「学校」という。）の生徒の学習の場及び生活の場としての安全・安心で快適な学校環境を確保するため、教育内容・方法の多様化及び情報化や環境保護等の社会情勢の変化に対応した、また、生涯学習や地域活動等のまちづくりの拠点としての地域に開かれた学校施設づくりを推進することを目的とする。

(協議事項等)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- (1) 学校施設づくりに必要な調査・研究を行うこと。
- (2) 学校改築等の基本構想をまとめ、豊島区教育委員会並びに豊島区長に提言すること。
- (3) 学校改築等の基本構想の実現に向けた活動を推進すること。
- (4) その他、学校施設づくりに関すること。

(構成)

第4条 本会は、次に掲げる団体等から推薦、または、選出された者で構成する。

- (1) 学校のPTA、同窓会
- (2) 学校通学区域内の町会及び居住する者の団体等
- (3) 学校通学区域内で活動する地域団体等
- (4) 豊島区、教育委員会及び学校

(役員等)

第5条 本会の役員の構成及び職務は次のとおりとする。

- (1) 会長、副会長、その他の役員は、委員の中から互選によって定める。
- (2) 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
- (3) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、これを代行する。

(任期)

第6条 委員及び役員の任期は、本会の設立の日から学校の改築等が終了するまでとする。

(会議運営等)

第7条 本会は会長が召集し、会議を主宰する。

- 2 本会は、必要に応じて部会等を置くことができる。
- 3 学校通学区域内に居住する者及び学校に通学する生徒の保護者は、会議を傍聴することができるものとする。但し、必要がある場合は、委員のみで会議を開催できるものとする。
- 4 会長は、必要に応じて委員以外の者を会議に出席させることができる。
- 5 委員は、地域の意見が充分反映されるよう協議するものとする。

(事務局)

第8条 本会の事務局は、豊島区教育委員会事務局教育部学校施設課に置く。

(会則の改正)

第9条 この会則に変更の必要が生じたときは、会において協議のうえ改正するものとする。

- 2 この会則に定めのない事項については、会において協議のうえ定めるものとする。

付 則

- 1 この会則は、平成26年6月23日から施行する。
- 2 この会則は、平成27年4月1日から施行する。

(6)「巣鴨北中学校の建替え等を考える会」委員名簿

氏名	所属団体等	備考
明石 雄次	巣鴨北中学校 PTA 会長	会長
千原 富男	庚申塚町会 会長	副会長
石合 周平	西巣鴨睦町会 会長	副会長
篠原 良幸	西巣鴨小学校 PTA 会長	
東條 ひろこ	清和小学校 PTA 会長	
浪久 貴弘	朝日小学校 PTA 会長	
小島 卓	豊成小学校 PTA 会長	
水越 りき	西巣鴨四丁目親交町会 副会長	
染谷 清直	西巣鴨共和会 会長	
野口 英人	大塚中学校 同窓会長	
真下 健弥	朝日中学校 同窓会	
杉浦 裕二郎	巣鴨北中学校開放運営委員長	
藤沼 清	巣鴨庚申塚まちづくりを考える会 副代表	
佐藤 徹明	大正大学 <sup>おつだい</sup> 鴨台プロジェクトセンター プロジェクト推進課長	
浅賀 政弘	庚申塚商栄会 会長	
柳澤 忠男	巣鴨北中学校 副校長	平成27年4月から
山崎 二郎	巣鴨北中学校 主幹	
天貝 勝己	豊島区教育委員会事務局 教育部長	
野島 修	豊島区施設管理部 施設整備課長	

事務局：豊島区教育委員会事務局教育部学校施設課



